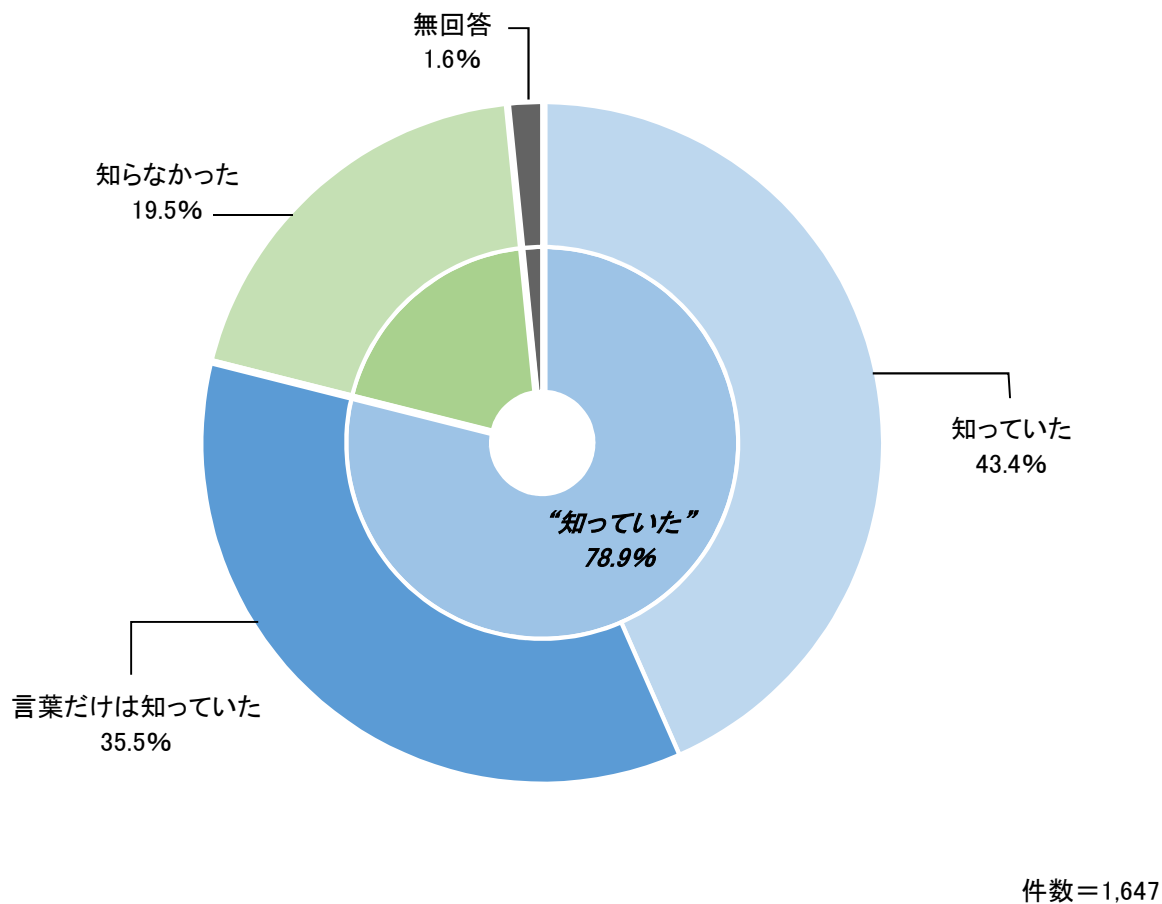


3 地球温暖化対策等について

(1)「脱炭素社会」の認知度

“知っていた”が 78.9%

問 12 「脱炭素社会」とは、人の活動による二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量が等しくなり、排出実質ゼロとなる社会のことです。
あなたは、「脱炭素社会」について知っていましたか。【〇は1つ】

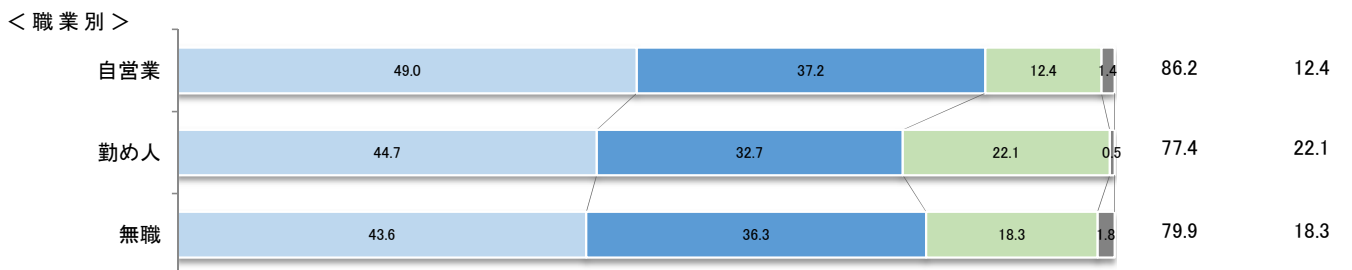
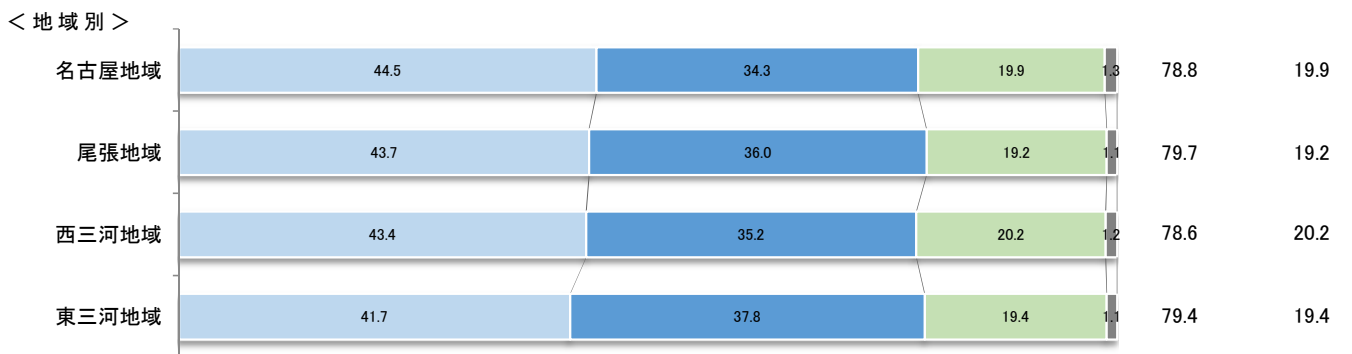
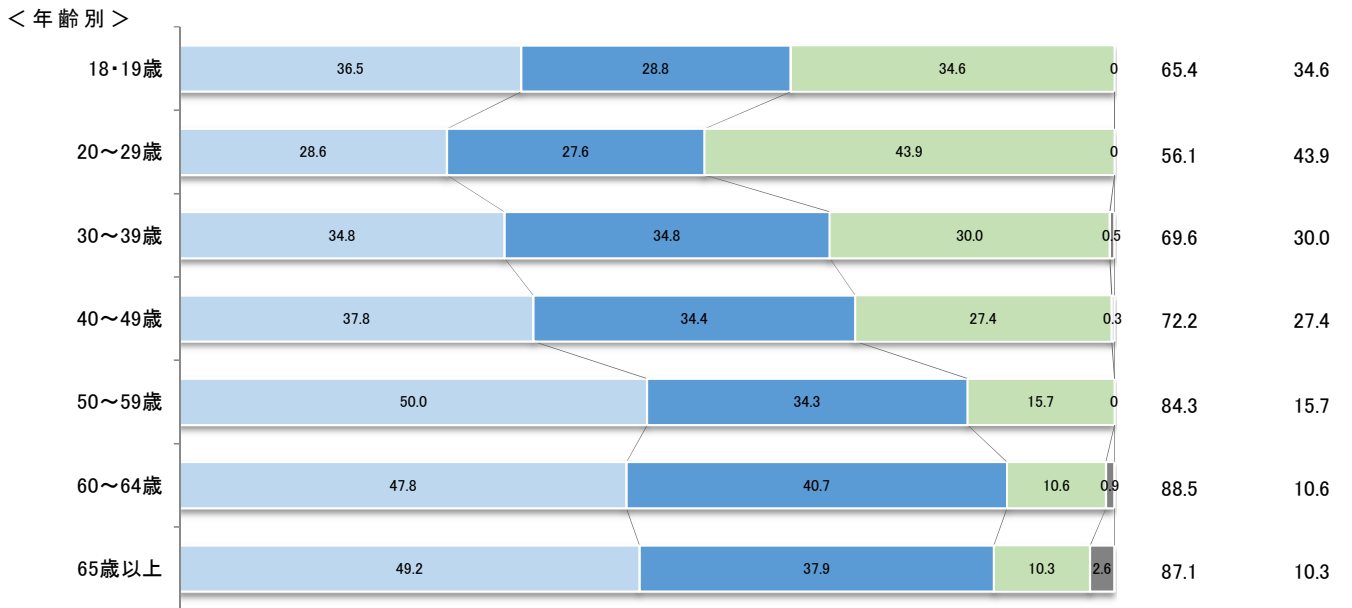
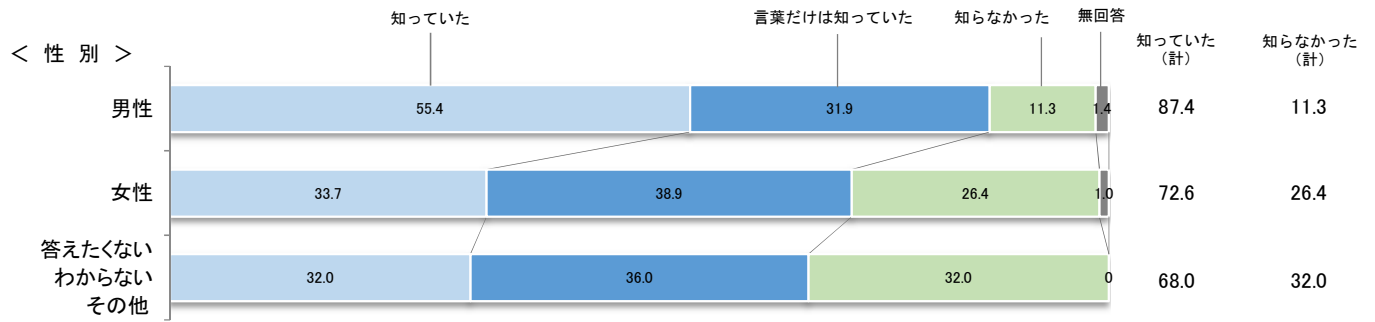


「脱炭素社会」の認知度について、「知っていた」(43.4%)と「言葉だけは知っていた」(35.5%)を合わせた“知っていた”と答えた人の割合は 78.9%となっている。

一方で、「知らなかった」と答えた人の割合は 19.5%となっている。

「脱炭素社会」の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

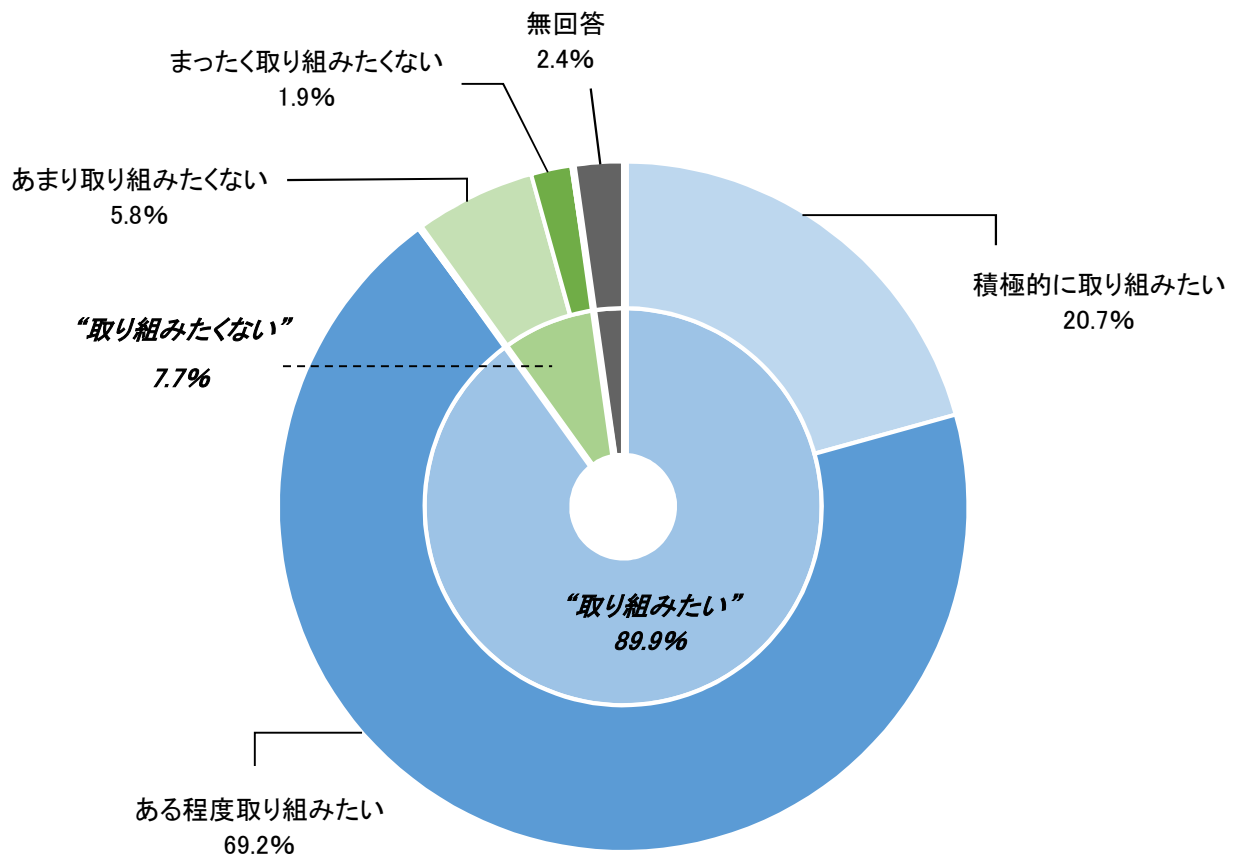
(%)



(2)「脱炭素社会」実現に向けた取組への意欲

“取り組みたい”が 89.9%

問 13 あなたは、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、どの程度取り組みたいですか。【〇は1つ】



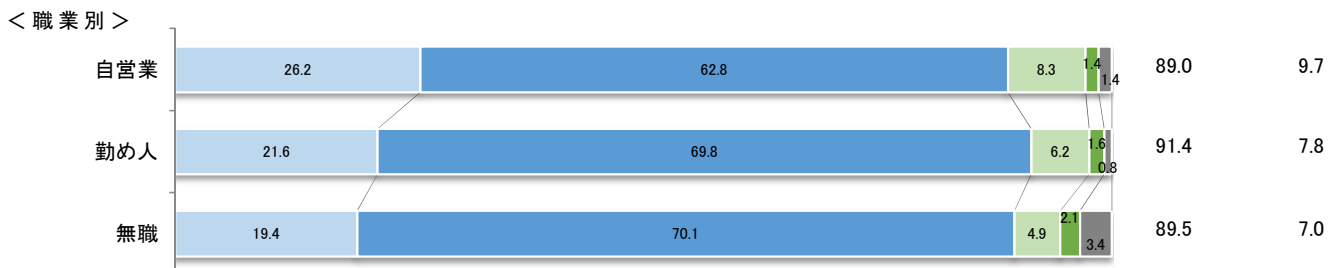
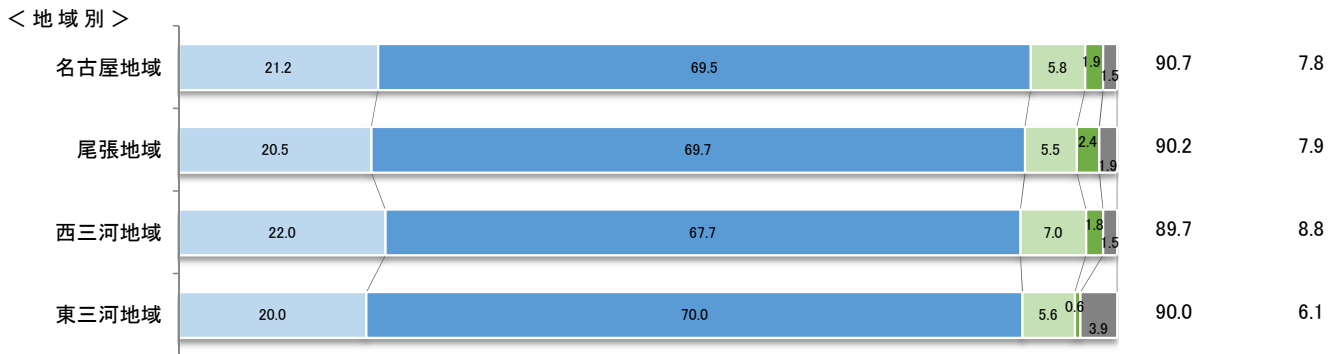
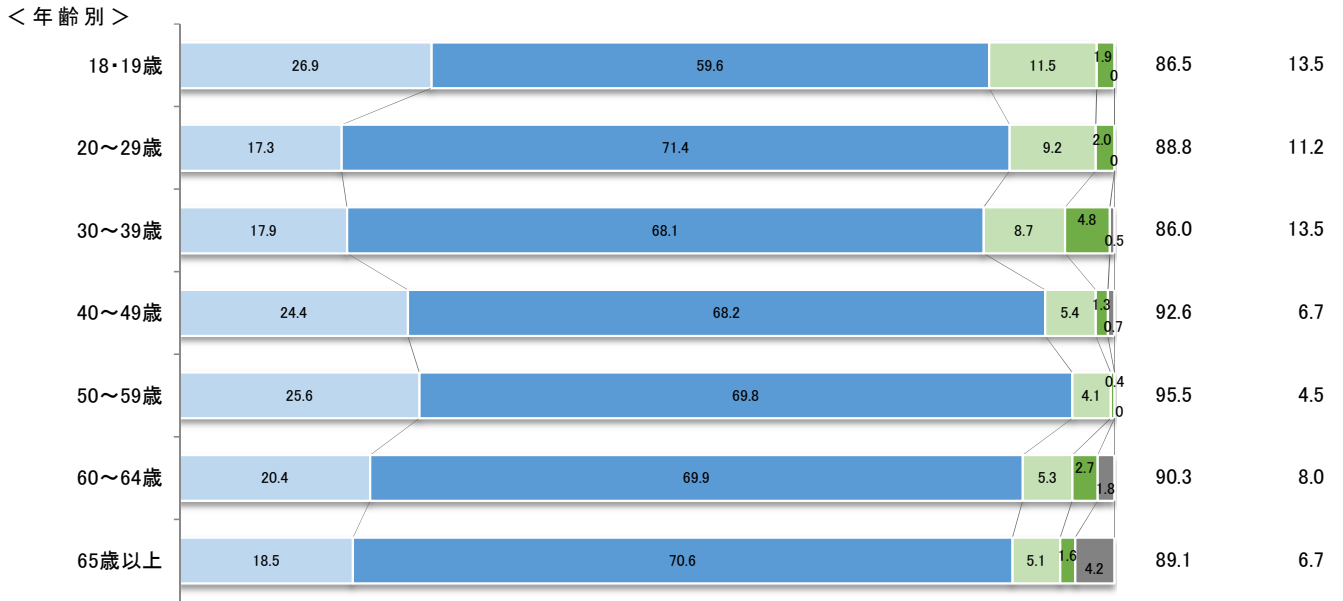
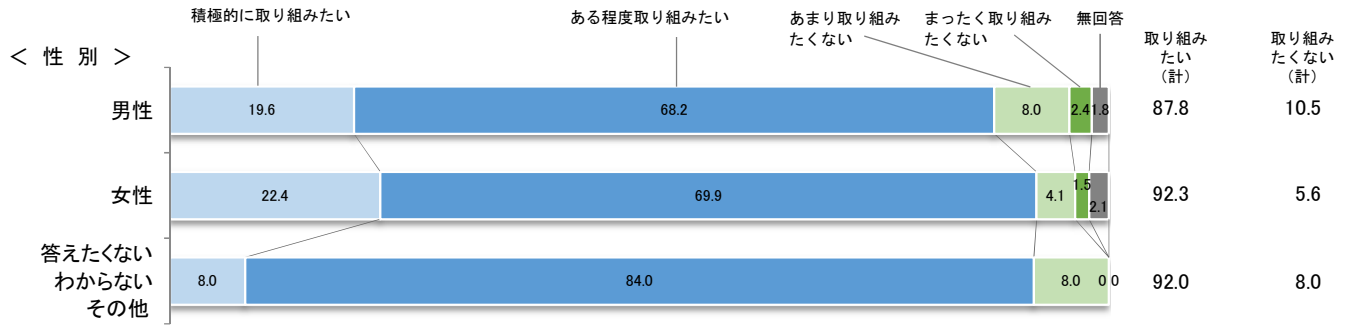
件数=1,647

「脱炭素社会」実現に向けた取組への意欲について、「積極的に取り組みたい」(20.7%)と「ある程度取り組みたい」(69.2%)を合わせた“取り組みたい”と答えた人の割合は 89.9%となっている。

一方で、「あまり取り組みたくない」(5.8%)と「まったく取り組みたくない」(1.9%)を合わせた“取り組みたくない”と答えた人の割合は 7.7%となっている。

「脱炭素社会」実現に向けた取組への意欲(性別、年齢別、地域別、職業別)

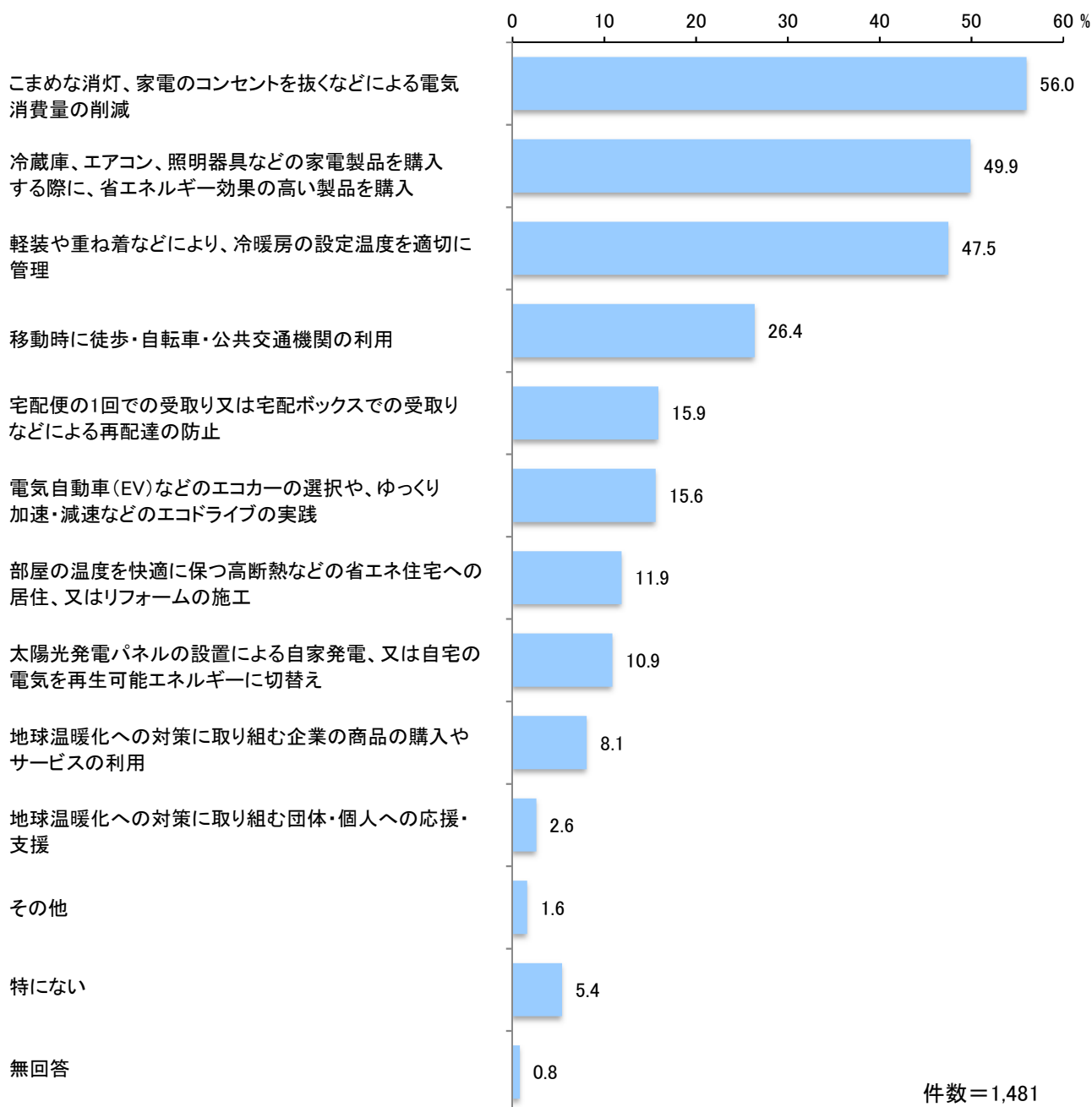
(%)



(3)「脱炭素社会」実現に向けて取り組んでいること

「こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減」が 56.0%

問 14 《問 13 で「1」又は「2」の“取り組みたい”と答えた方にお聞きします。》
「脱炭素社会」の実現に向け、日常生活の中で、現在、取り組んでいることはありますか。
【〇は複数可】



「脱炭素社会」実現に向けて取り組んでいることについて、「こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減」と答えた人の割合が 56.0%と最も高く、続いて「冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入」(49.9%)、「軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理」(47.5%)の順となっている。

「脱炭素社会」実現に向けて取り組んでいること(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減

冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入

軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理

< 性別 >

男性	51.7	45.5	41.0
女性	59.1	53.8	53.0
答えたくない わからない その他	56.5	39.1	39.1

< 年齢別 >

18歳・19歳	53.3	8.9	35.6
20～29歳	50.6	20.7	40.2
30～39歳	48.3	39.3	39.9
40～49歳	54.9	47.7	46.6
50～59歳	55.8	57.6	45.0
60～64歳	52.0	63.7	60.8
65歳以上	60.7	56.9	51.2

< 地域別 >

名古屋地域	55.5	44.0	46.2
尾張地域	54.9	55.1	48.1
西三河地域	60.8	50.7	48.0
東三河地域	52.5	46.3	46.9

< 職業別 >

自営業	48.8	50.4	45.7
勤め人	54.3	49.6	46.7
無職	58.9	50.9	50.4

移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用

宅配便の1回での受取り又は宅配ボックスでの受取りなどによる再配達防止

電気自動車(EV)などのエコカーの選択や、ゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践

< 性別 >

男性	23.8	8.4	17.8
女性	27.9	22.0	14.3
答えたくない わからない その他	34.8	17.4	8.7

< 年齢別 >

18歳・19歳	51.1	15.6	2.2
20～29歳	32.2	18.4	5.7
30～39歳	20.2	25.3	15.7
40～49歳	21.3	15.5	15.9
50～59歳	22.1	16.0	21.2
60～64歳	19.6	13.7	24.5
65歳以上	31.0	13.0	14.5

< 地域別 >

名古屋地域	40.0	17.9	16.2
尾張地域	24.3	16.6	17.0
西三河地域	15.7	12.4	16.3
東三河地域	19.1	15.4	9.3

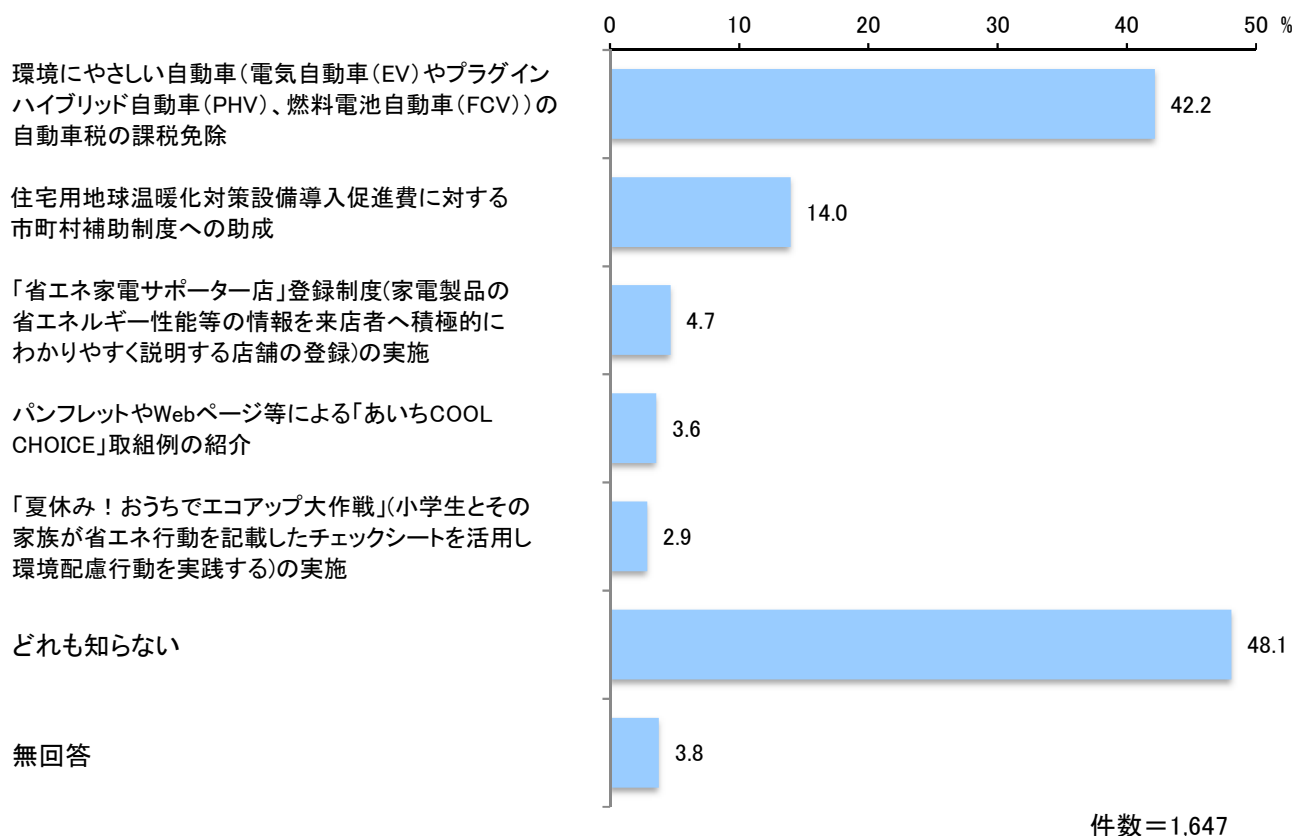
< 職業別 >

自営業	22.5	14.7	14.7
勤め人	21.7	14.9	17.8
無職	33.6	18.4	13.7

(4)知っている「あいち COOL CHOICE」県民運動の取組

「環境にやさしい自動車(電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV))の自動車税の課税免除」が 42.2%

問 15 地球温暖化を防止するためには、家庭においても、一人一人が身近にできることから実践することが大切です。愛知県では、家庭での温暖化対策として、「あいち COOL CHOICE (クールチョイス)」県民運動を推進しています。「あいち COOL CHOICE」県民運動を推進するために愛知県が行っている取組のうち、あなたが知っているものは何ですか。【〇は複数可】



知っている「あいち COOL CHOICE」県民運動の取組について、「環境にやさしい自動車(電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV))の自動車税の課税免除」と答えた人の割合が 42.2%と最も高く、続いて「住宅用地球温暖化対策設備導入促進費に対する市町村補助制度への助成」(14.0%)、「『省エネ家電サポーター店』登録制度(家電製品の省エネルギー性能等の情報を来店者へ積極的にわかりやすく説明する店舗の登録)の実施」(4.7%)の順となっている。

一方で、「どれも知らない」と答えた人の割合は 48.1%となっている。

知っている「あいち COOL CHOICE」県民運動の取組(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

環境にやさしい自動車(電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV))の自動車税の課税免除

住宅用地球温暖化対策設備導入促進費に対する市町村補助制度への助成

「省エネ家電サポーター店」登録制度(家電製品の省エネルギー性能等の情報を来店者へ積極的にわかりやすく説明する店舗の登録)の実施

< 性別 >

男	性	43.9	14.7	5.2
女	性	41.9	13.6	3.9
答えたくない わからない	その他	28.0	4.0	4.0

< 年齢別 >

18歳・19歳	21.2	3.8	3.8
20～29歳	24.5	8.2	2.0
30～39歳	26.1	7.7	1.9
40～49歳	37.5	13.4	2.7
50～59歳	43.8	14.9	3.3
60～64歳	54.9	22.1	4.4
65歳以上	52.6	16.2	7.4

< 地域別 >

名古屋地域	36.3	10.6	3.9
尾張地域	42.9	14.5	4.7
西三河地域	50.4	17.3	6.2
東三河地域	42.8	14.4	2.8

< 職業別 >

自営業	53.8	17.9	7.6
勤め人	40.2	13.0	2.8
無職	44.1	14.7	5.4

パンフレットや Web ページ等による「あいち COOL CHOICE」取組例の紹介

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」(小学生とその家族が省エネ行動を記載したチェックシートを活用し環境配慮行動を実践する)の実施

どれも知らない

< 性別 >

男	性	5.0	3.0	46.2
女	性	2.4	2.8	49.7
答えたくない わからない	その他	4.0	4.0	64.0

< 年齢別 >

18歳・19歳	1.9	3.8	71.2
20～29歳	3.1	3.1	69.4
30～39歳	1.4	1.4	66.7
40～49歳	1.0	2.7	54.2
50～59歳	3.7	3.7	49.2
60～64歳	4.4	1.8	38.9
65歳以上	5.7	3.3	35.3

< 地域別 >

名古屋地域	4.1	2.4	54.6
尾張地域	4.1	3.5	47.2
西三河地域	2.9	2.6	41.6
東三河地域	2.2	2.8	49.4

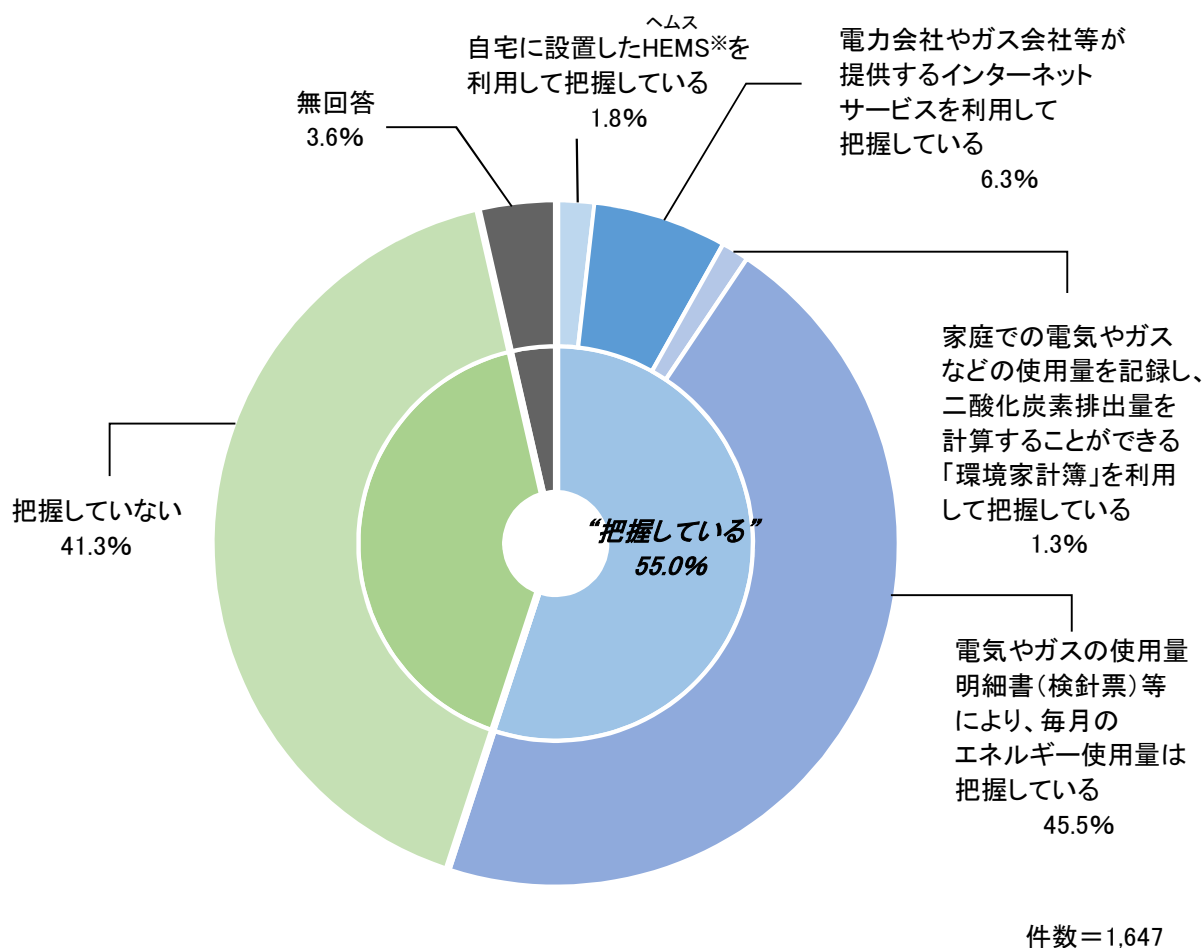
< 職業別 >

自営業	5.5	4.1	35.9
勤め人	2.5	2.1	53.7
無職	4.1	3.9	44.9

(5) 家庭でのエネルギー使用量等の把握状況

“把握している”が 55.0%

問 16 地球温暖化問題の解決に向けては、一人一人が日々の生活の中で、エネルギー使用量を減らすことが不可欠です。あなたは、ご家庭でのエネルギー使用量（主に電気とガス）や二酸化炭素排出量をどのような方法で把握していますか。【〇は1つ】

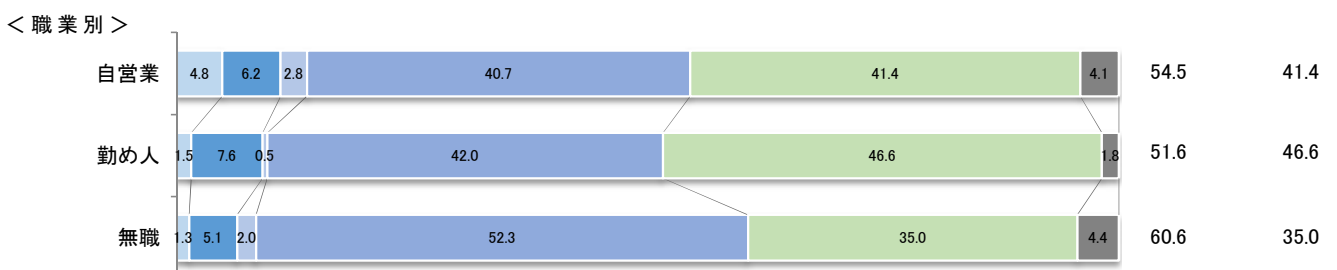
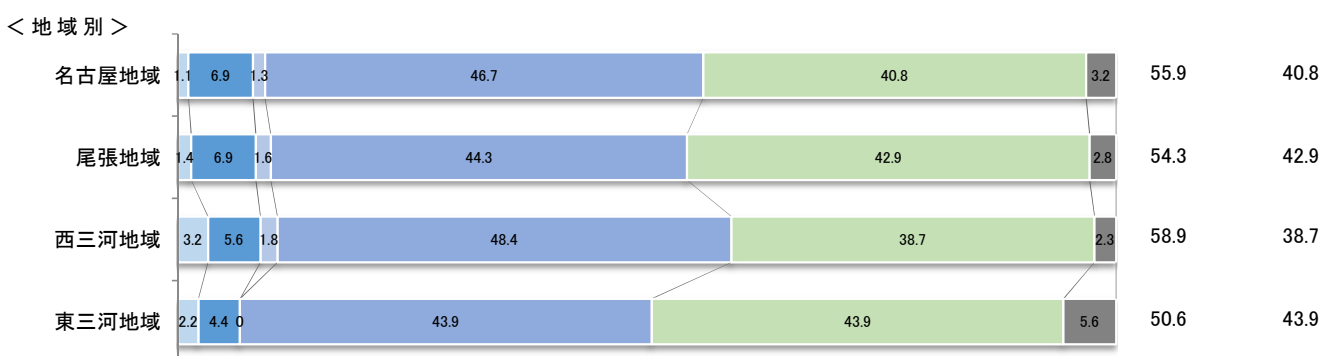
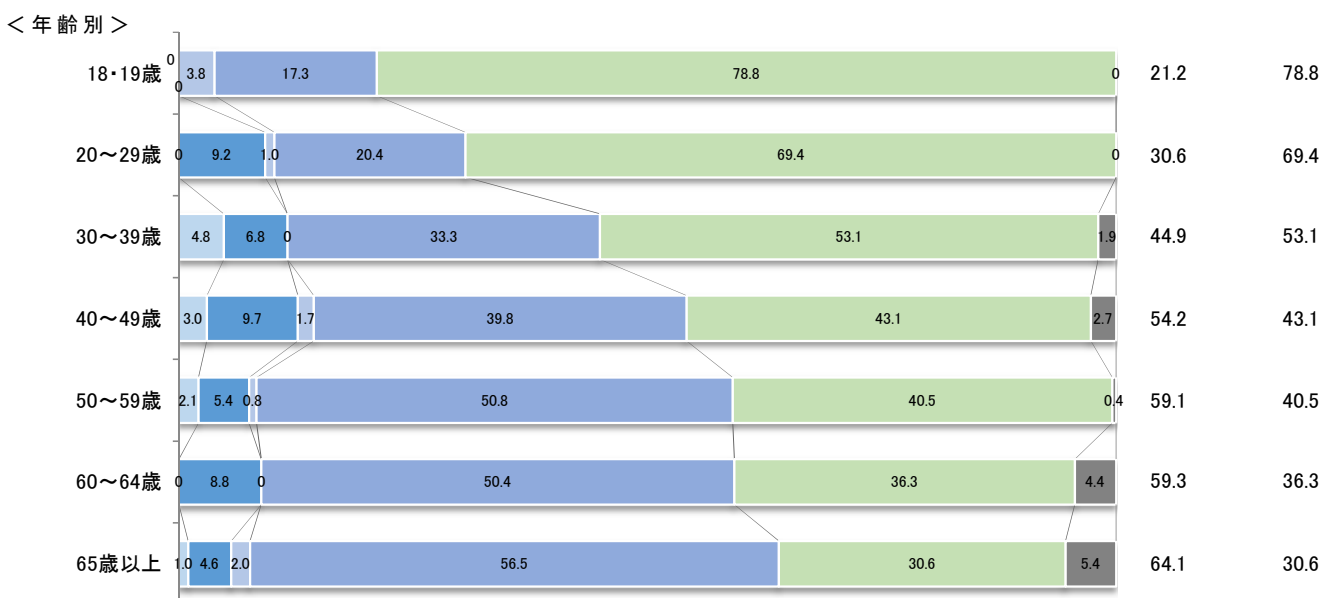
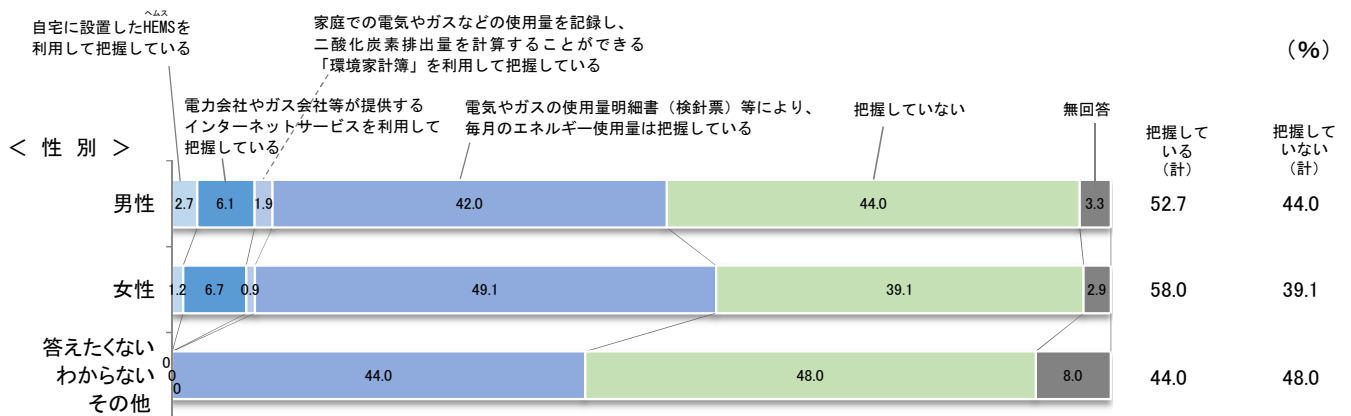


家庭でのエネルギー使用量等の把握状況について、「自宅に設置した^{ヘムス}HEMS※を利用して把握している」(1.8%)と「電力会社やガス会社等が提供するインターネットサービスを利用して把握している」(6.3%)と「家庭での電気やガスなどの使用量を記録し、二酸化炭素排出量を計算することができる『環境家計簿』を利用して把握している」(1.3%)と「電気やガスの使用量明細書(検針票)等により、毎月のエネルギー使用量は把握している」(45.5%)を合わせた“把握している”と答えた人の割合は 55.0%となっている。

一方で、「把握していない」と答えた人の割合は 41.3%となっている。

※^{ヘムス}HEMS: 家庭用エネルギーマネジメントシステム。住宅内の家電製品等とネットワークで接続し、稼働状況などを監視、遠隔操作や自動制御することで、家庭におけるエネルギー管理(省エネ)を支援する。

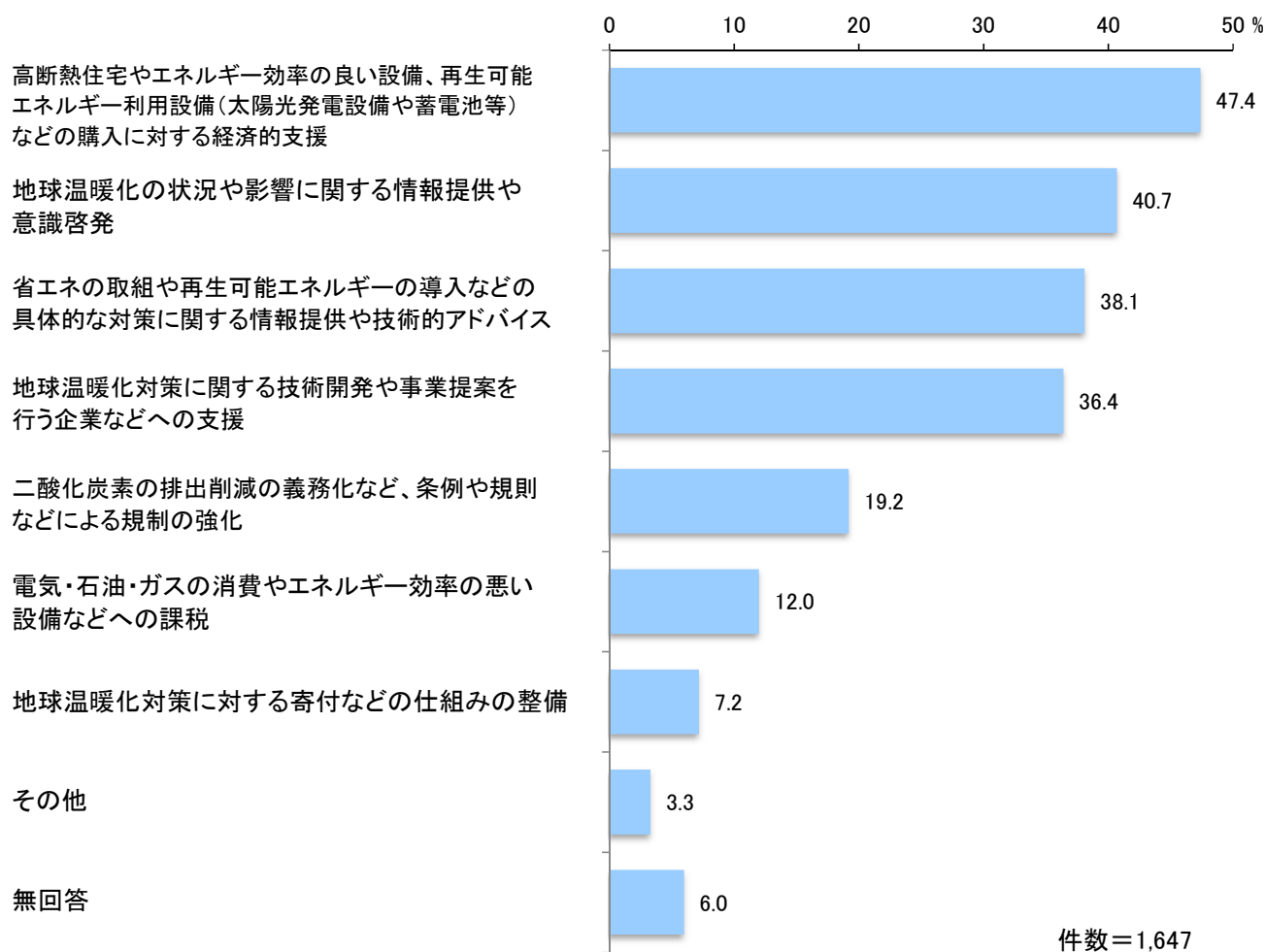
家庭でのエネルギー使用量等の把握状況(性別、年齢別、地域別、職業別)



(6) 地球温暖化問題を解決するために愛知県が進めるべき取組

「高断熱住宅やエネルギー効率の良い設備、再生可能エネルギー利用設備(太陽光発電設備や蓄電池等)などの購入に対する経済的支援」が 47.4%

問 17 地球温暖化問題を解決するために、愛知県はどのような取組を進めるべきだと思いますか。
【〇は3つまで】



地球温暖化問題を解決するために愛知県が進めるべき取組について、「高断熱住宅やエネルギー効率の良い設備、再生可能エネルギー利用設備(太陽光発電設備や蓄電池等)などの購入に対する経済的支援」と答えた人の割合が 47.4%と最も高く、続いて「地球温暖化の状況や影響に関する情報提供や意識啓発」(40.7%)、「省エネの取組や再生可能エネルギーの導入などの具体的な対策に関する情報提供や技術的アドバイス」(38.1%)の順となっている。

地球温暖化問題を解決するために愛知県が進めるべき取組(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

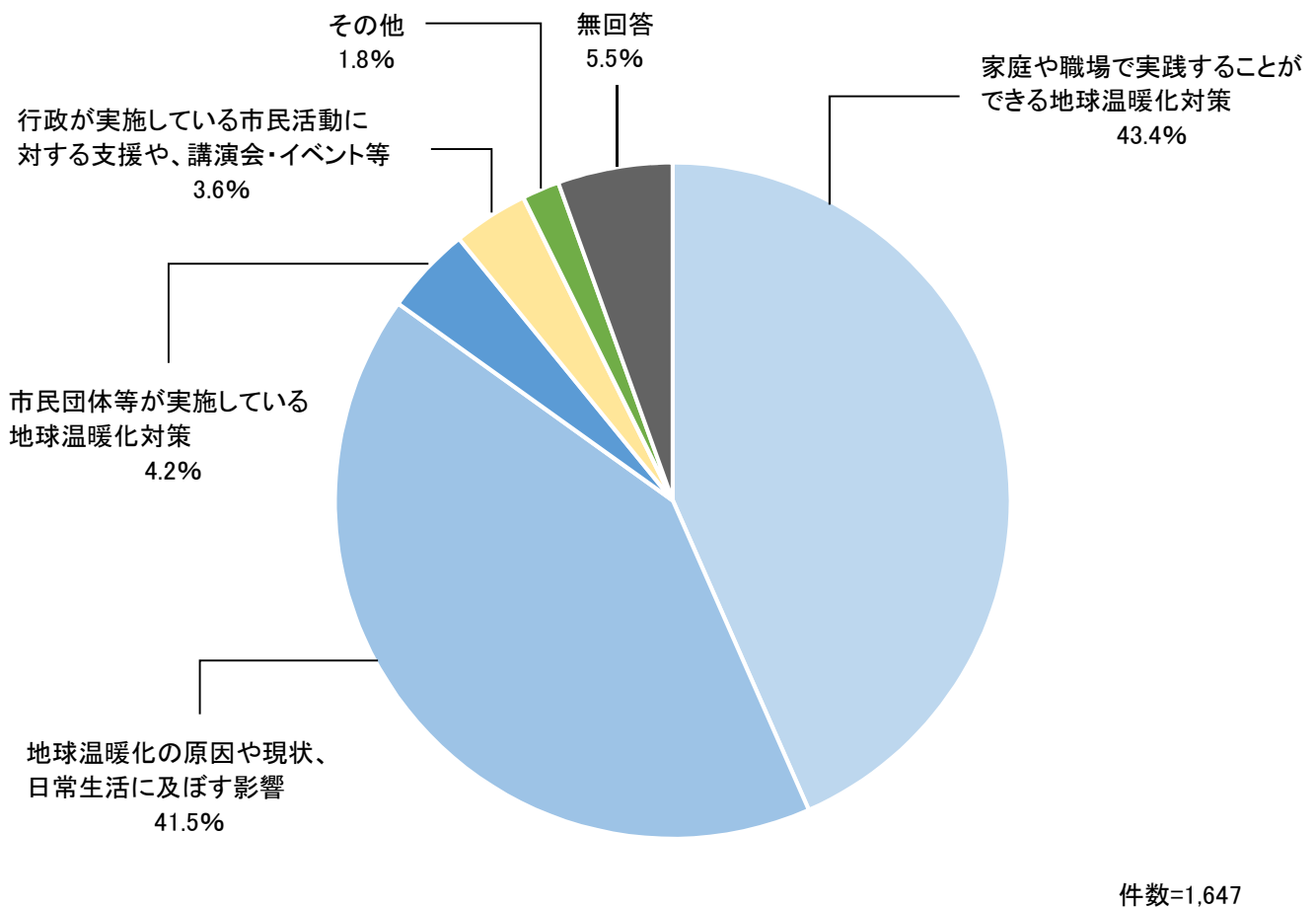
	高断熱住宅やエネルギー効率の良い設備、再生可能エネルギー利用設備(太陽光発電設備や蓄電池等)などの購入に対する経済的支援	地球温暖化の状況や影響に関する情報提供や意識啓発	省エネの取組や再生可能エネルギーの導入などの具体的な対策に関する情報提供や技術的アドバイス
< 性別 >			
男性	48.9	37.5	36.7
女性	47.0	44.0	39.7
答えたくない わからない その他	32.0	40.0	36.0
< 年齢別 >			
18歳・19歳	46.2	23.1	30.8
20～29歳	65.3	33.7	37.8
30～39歳	51.2	33.8	35.7
40～49歳	49.5	38.1	33.4
50～59歳	51.2	44.6	44.6
60～64歳	52.2	40.7	42.5
65歳以上	40.5	45.9	39.1
< 地域別 >			
名古屋地域	46.4	41.7	36.5
尾張地域	49.7	39.3	39.1
西三河地域	50.4	39.6	35.2
東三河地域	38.9	46.7	46.7
< 職業別 >			
自営業	47.6	45.5	41.4
勤め人	50.5	40.8	41.0
無職	44.6	41.3	34.3

	地球温暖化対策に関する技術開発や事業提案を行う企業などへの支援	二酸化炭素の排出削減の義務化など、条例や規則などによる規制の強化	電気・石油・ガスの消費やエネルギー効率の悪い設備などへの課税
< 性別 >			
男性	38.9	20.2	13.0
女性	35.4	18.4	11.3
答えたくない わからない その他	20.0	24.0	8.0
< 年齢別 >			
18歳・19歳	40.4	17.3	21.2
20～29歳	38.8	21.4	15.3
30～39歳	45.4	17.4	11.6
40～49歳	36.5	19.4	14.7
50～59歳	40.1	16.9	8.3
60～64歳	34.5	18.6	10.6
65歳以上	32.4	20.6	11.3
< 地域別 >			
名古屋地域	35.6	20.3	12.5
尾張地域	38.3	20.8	11.0
西三河地域	34.6	18.2	15.2
東三河地域	37.8	13.9	8.3
< 職業別 >			
自営業	33.8	22.1	10.3
勤め人	39.1	17.2	13.0
無職	36.1	21.1	11.6

(7)地球温暖化対策に必要な情報

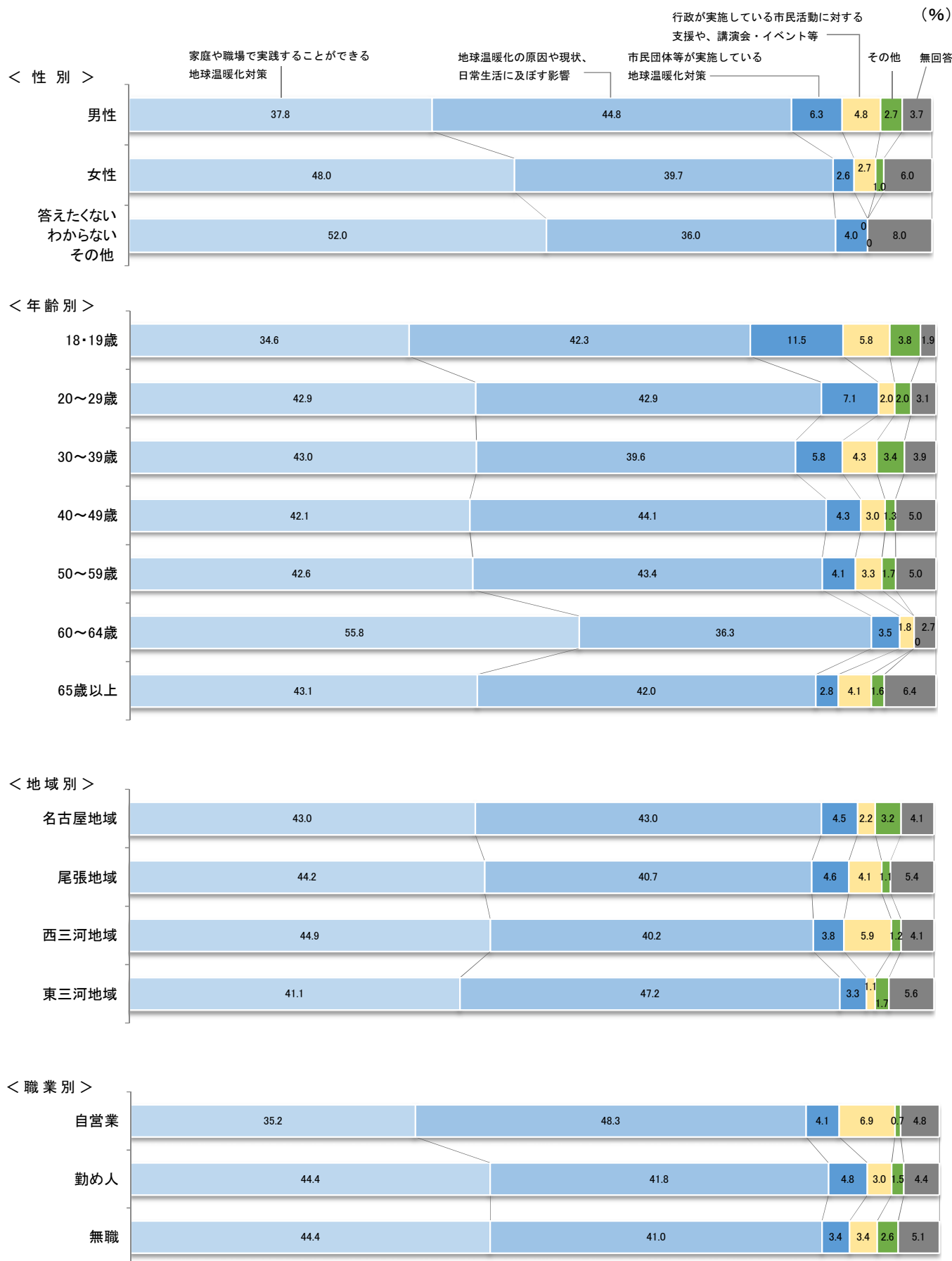
「家庭や職場で実践することができる地球温暖化対策」が 43.4%

問 18 地球温暖化対策に関して、あなたが必要な情報は何か。【〇は1つ】



地球温暖化対策に必要な情報について、「家庭や職場で実践することができる地球温暖化対策」と答えた人の割合が 43.4%と最も高く、続いて「地球温暖化の原因や現状、日常生活に及ぼす影響」(41.5%)、「市民団体等が実施している地球温暖化対策」(4.2%)の順となっている。

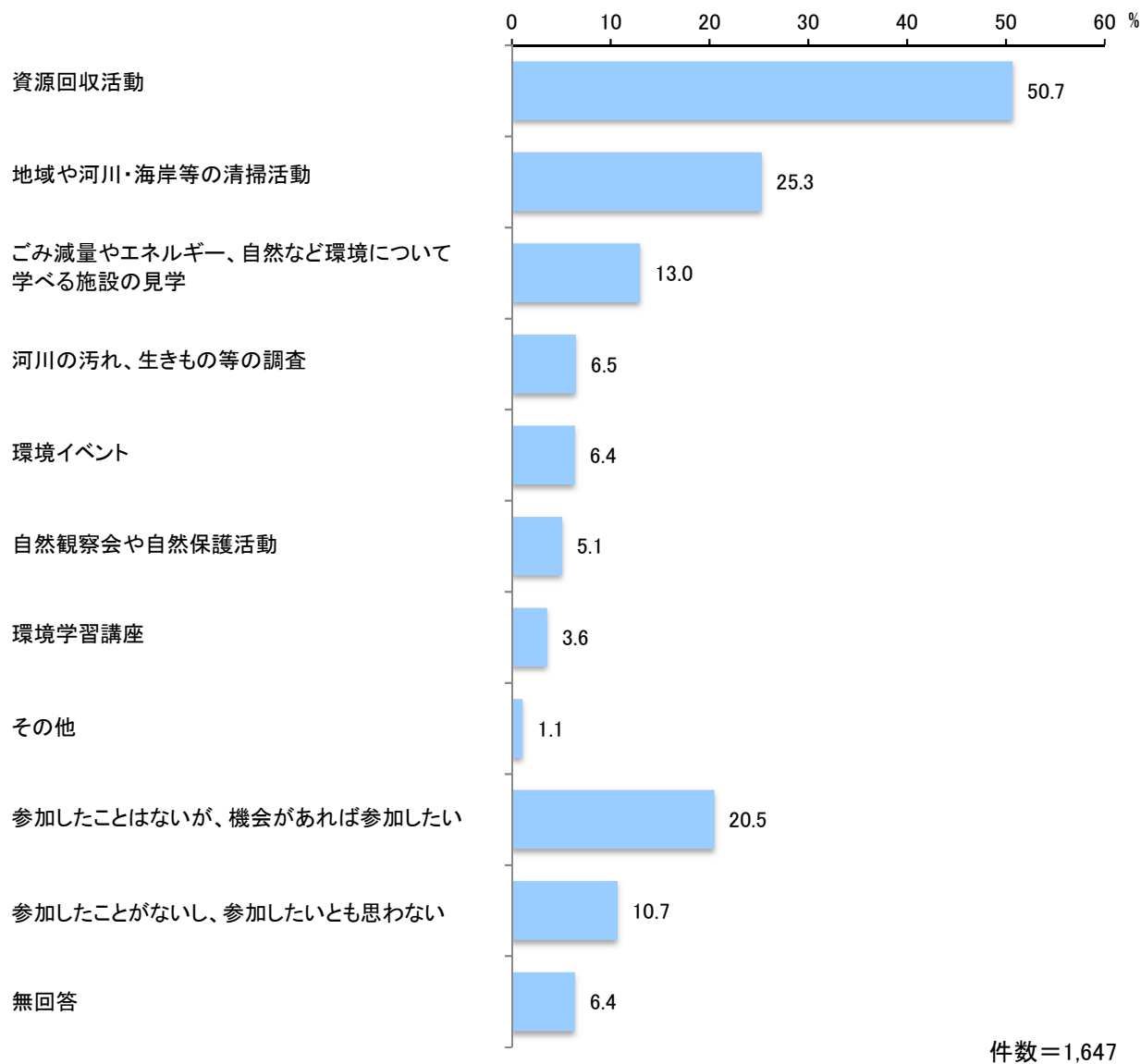
地球温暖化対策に必要な情報(性別、年齢別、地域別、職業別)



(8)環境学習や環境保全活動への参加状況

「資源回収活動」が 50.7%

問 19 一人一人が環境を大切に思う心を持ち、環境に配慮した行動へつなげていくためには、環境学習や環境保全活動に参加していくことが重要です。あなたはこれまで、どのような環境学習や環境保全活動に参加したことがありますか。【〇は複数可】



環境学習や環境保全活動への参加状況について、「資源回収活動」と答えた人の割合が 50.7%と最も高く、続いて「地域や河川・海岸等の清掃活動」(25.3%)、「ごみ減量やエネルギー、自然など環境について学べる施設の見学」(13.0%)の順となっている。

一方で、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と答えた人の割合は 20.5%、「参加したことがないし、参加したいとも思わない」と答えた人の割合は 10.7%となっている。

環境学習や環境保全活動への参加状況(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

	資源回収活動	地域や河川・海岸等の清掃活動	ごみ減量やエネルギー、自然など環境について学べる施設の見学
< 性別 >			
男性	44.4	24.9	12.9
女性	57.1	26.6	13.0
答えたくない わからない その他	36.0	12.0	12.0
< 年齢別 >			
18歳・19歳	50.0	40.4	28.8
20～29歳	49.0	29.6	24.5
30～39歳	45.9	28.0	13.0
40～49歳	54.8	23.1	12.4
50～59歳	47.1	24.4	12.0
60～64歳	59.3	34.5	9.7
65歳以上	51.5	22.9	11.1
< 地域別 >			
名古屋地域	41.9	19.9	10.6
尾張地域	52.1	24.4	13.7
西三河地域	58.1	31.1	16.4
東三河地域	58.9	34.4	10.6
< 職業別 >			
自営業	51.0	25.5	15.2
勤め人	51.8	27.3	12.4
無職	50.7	24.0	13.6
河川の汚れ、生きもの等の調査			
参加したことはないが、機会があれば参加したい			
参加したことがないし、参加したいと思わない			
< 性別 >			
男性	5.7	22.8	12.0
女性	7.3	18.7	8.9
答えたくない わからない その他	0	20.0	28.0
< 年齢別 >			
18歳・19歳	11.5	11.5	5.8
20～29歳	15.3	15.3	11.2
30～39歳	8.2	16.9	17.4
40～49歳	6.0	18.4	13.4
50～59歳	6.2	26.9	12.8
60～64歳	2.7	20.4	5.3
65歳以上	5.1	22.1	7.0
< 地域別 >			
名古屋地域	4.8	26.3	14.0
尾張地域	7.3	20.0	9.6
西三河地域	5.6	16.7	8.5
東三河地域	10.0	14.4	7.8
< 職業別 >			
自営業	5.5	17.9	12.4
勤め人	6.8	20.5	11.6
無職	6.2	21.2	8.7